

No.10 SSI（手術部位感染）発生率の低下に向けて



P（PLAN：課題設定）

- ・手術部位感染（SSI）サーベイランス結果を分析し、現状の課題を明確にしたうえで、改善計画を立案しました

D（DO：実施）

- ・ハイリスクかつハイボリュームの術式を対象として、ターゲットサーベイランスを実施しました
- ・感染事例については、周術期感染管理チーム内で症例検討を行い、発生要因および介入すべき課題について検証しました
- ・手術部における二重手袋の実施状況を調査し、病院として二重手袋の着用を推奨しました

C（CHECK：評価）

- ・サーベイランス結果をJANISデータと比較したところ、脊椎固定術における手術部位感染発生率は、2022年には全国平均の1.7倍、2024年には2.2倍と高い水準で推移していました
- ・一方、2025年には全国平均の1.7倍まで改善が認められました
- ・その他の術式については、おおむね全国平均と同程度の水準で推移しました

A（ACT：改善方針）

- ・当院全体の手術部位感染の実態をより正確に把握するため、サーベイランス対象を全術式へ拡大してまいります
- ・全術式のサーベイランス結果を基に、感染率の高い術式について発生要因の分析を行うとともに、必要な感染対策を実施し、継続的な改善につなげてまいります